

樺井地区地域ミーティング
(通算第89回)

開催日	平成27年11月15日(日)
開催時間	午後7時～午後8時30分
会場	樺井小学校
参加者	26名



地 域 課 題	市 の 回 答
1. 三条添川交差点の渋滞について	1. 交差点が整備された時は、信号のタイミングが一番いい状況であったが、その後状況が変わっている。警察によると、右折ラインの表示については協議が可能であるが、今後県道西九条佐保線ができる予定である。交差点処理について、市と県と公安とで協議していきたい。
2. 西九条佐保線に関わらず、渋滞緩和のために路面の表示を変更することについて	2. 公安も安全性を考えた結果であると思う。最終的な判断は警察の領域であるため、市からは意見として伝える。
3. 市道猿沢線の拡幅の交渉について	3. 市議会に請願書が提出され、審査をいただいているが、改めて地元自治会と意見交換を行いたい。猿沢線の整備は県と協働で考えており、「まちづくりに関する包括協定」を締結したり、猿沢池周辺を整備していくことが主な計画のひとつであるため、今後周辺の関係者の意見を広く聞きたいと考えている。
4. 若い世代が暮らしやすい環境づくり、また、近鉄奈良駅周辺の公的な保育施設の設置について	4. 私立幼稚園が保育のサービスも拡充する例があるので、施設過剰にならないように判断していく。既存施設に補助金を出して、保育サービスもやってもらえるように働きかけることは可能である。地域の保育ニーズを調査して対応する。

<p>5. やすらぎの道の整備について</p>	<p>5. 歩道部分（街路樹も含む）の改修について、痛みや汚れがあるため、全部をうまく解消できないかと考えている。現在、電線の地中化も含めて全体的なリニューアルも考えている。自転車走行レーンの設置については、今年度測量設計を完了している。ガス・水道の敷設後の補修については、地盤沈下の恐れがあるため、仮舗装が通常である。小西通りや三条通りは石張りのため、地盤がしっかりすれば石を戻す指導をしている。なお、長期間そのままであれば、工事業者に指導する。</p>
<p>6. 斎場移転先問題の進捗状況について</p>	<p>6. 横井町の山林を最重要候補地として、地元及び周辺自治会と協議しており、並行して地形・土質等の調査や環境影響評価を進めている。合併特例債を有効活用するため、平成32年度末までに竣工したい。</p>
<p>7. 清美工場移転先問題の進捗状況について</p>	<p>7. 現在、東部地区の方をお願いしている状況である。エネルギー効率を配慮した基本計画や、地域の為になる計画も考えて説明し、一定の理解を得られたなら、その事業が環境に及ぼす影響を調査する予定である。</p>
<p>8. 遊休地を利用した企業誘致等の有効利用及び奈良市全体の収入を増やす方法について</p>	<p>8. 一定の役割を終えた土地は、その後の活用を考えて、それでもない場合は民間活用のため売却していく。市の財産をスリム化するということと、財源を確保していくというこの目的で、現在も土地の売却を進めている。</p>
<p>9. 奈良町の交通規制について</p>	<p>9. 渋滞対策については、車の流入を防ぐ規制が最終手段だと思う。現在、日祝日の三条通りは歩行者天国で、やすらぎの道までの区間であるが、この先の延長も考えており、カーナビの会社に案内に入れないように要望しても受け入れられない状況である。</p>